

令和5年度自然資源を活用した
上質なツーリズムの実現に向けた人材育成支援事業

募集要項

募集期間：令和5年度10月6日（金）～10月31日（火）必着

令和5年10月

環 境 省

本研修は、環境省の業務であり、請負先である公益社団法人日本環境教育フォーラム（JEEF）と一般社団法人日本エコツーリズム協会（JES）が実施します。

1. はじめに

環境省では「地域の自然資源を活かした上質なツーリズム」を推進しています。これは、地域の優れた自然環境を守りつつ、それを基盤としてその土地の暮らし・歴史・文化を含む地域ならではの本物の価値に基づく感動や学びの体験を提供することで、来訪者の満足度向上、地域社会の価値向上及び自然環境の保全に寄与する観光のあり方です。このような上質なツーリズムの推進を通じて、国立公園をはじめとした自然地域の保護と利用の好循環を目指しています。

こうした背景のもと、本研修は、国立公園をはじめとした自然資源を有する地域において、上質なツーリズムに取り組む意欲のある地域の関係者を対象に、エコツーリズムやインタープリテーションに関する考え方を含む研修やアドバイザー派遣等の人材育成支援を行い、地域における自然資源の保護と利用の好循環の実現を後押しするものです。

参加にあたっては、ビジターセンターや博物館等拠点となる観光施設の従事者、エコツアーや自然体験アクティビティ等のガイド、これら施設・事業の管理者・経営者、さらに地域におけるコーディネーター的な役割が期待される自治体関係者や観光協会、観光地域作り法人（DMO/DMC）等の方々に、複数の組織からなる2～3名程度のチームを作り、地域として応募いただきます（詳細は、以下3.

(1) のとおり)。観光体験の機会や質の向上にどのように取り組めばよいのか、来訪者の満足度・滞在時間及び消費支出の増大はどのように達成されるべきか、利用と保全の両立に向けた仕組み作りはどうか等について、エコツーリズムやインタープリテーション、経営やマーケティング、環境教育、地域連携促進等の第一線で活躍する講師陣と共に学んでいきます（詳細は、以下5. のとおり)。また参加地域同士での相互の学びあいができるのも本研修の特徴のひとつです。

研修は、事前自己研修のオンライン学習（YouTube 視聴）、アドバイザーによる事前ヒアリング（オンライン）、2泊3日の集合研修（11月下旬、栃木県那須高原）、参加地域へのアドバイザー派遣等がひとつのパッケージとなっており、希望する地域には、次年度以降もフォローアップが実施されます（詳細は、以下3. (2) のとおり)。研修受講は無料ですが、集合研修に参加するための旅費等実費については御負担いただきます（詳細は、以下4. のとおり)。

本件研修の趣旨を御理解いただき、多くの地域からの御応募をお待ちしております。

2. 研修目標

本事業は、研修参加者が、①自然資源を活用した上質なツーリズムの考え方を理解し、それを実現するための鍵となる知識、視点を得ること、②それぞれの地域・拠点での課題を的確に把握し、効果的な取組を行動計画に落とし込み目標を設定できること、を研修目標としています。①、②を達成することで、将来的には、国立公園をはじめとした自然地域等において上質なツーリズムを実現する体制が構築されることを目指しています。

研修事業実施目標		指標
上位目標	自然資源を活用した上質なツーリズムを、地域で実現する体制が構築される。	・行動計画が地域に面的な広がりを見せている。（協議会の設立、事業者等が連携してのツアー商品化等）
中間目標	研修を通じて作成した行動計画が進展する。または、状況の変化に応じ改訂が行われる。	・行動計画の一部または全部に進展がみられる。 ・必要な場合、行動計画が見直される。

研修目標	① 自然資源を活用した上質なツーリズムの考え方を理解し、それを実現するための鍵となる知識、視点を ② それぞれの地域・拠点での課題を的確に把握し、効果的な取組を行動計画に落とし込み目標を設定できる	・研修参加者に上質なツーリズムの考え方（エコツーリズムやインタープリテーションに関する考え方を含む）が理解される。 ・その実現に必要な「知識」「視点」が理解される。 ・研修参加者によりそれぞれの地域・拠点での効果的な取組が行動計画に落とし込まれる。
------	---	--

3. 研修対象者と全体スケジュール

(1) 研修対象者について

地域における上質なツーリズムの提供体制構築に向けたキーパーソンとなる以下①～③に掲げる人材の育成支援を行います。

主な人材	①（個人レベル） ガイド、インタープリター	②（組織レベル） ガイド事業経営者 施設管理者	③（地域レベル） 地域コーディネーター プロデューサー
所属イメージ	ビジターセンター、自然系博物館、自然学校、観光施設、アクティビティ事業者、エコツアー事業者等	同左	自治体、観光協会、DMO/DMC、商工会、協議会、国立公園管理の関係者、各種組合等
期待される役割 (育成目標)	来訪者と最前線で接する地域の顔として、地域ならではの価値を感動や学びの体験を通じて来訪者に伝え、来訪者の満足度向上を図る。	事業経営・施設運営を通じて、来訪者の満足度向上及び経済的な視点も含めた地域社会の価値向上に貢献する。	関わる各主体間を取り持ち、情報集約と共有、状況把握、働きかけを行い、来訪者の満足度向上、地域社会の価値向上及び自然環境の保全のバランスのとれた取組を促進する。

【応募にあたっての留意事項】

- 本研修は、研修の成果として作成する行動計画を地域で協働し取り組んでいく観点から、応募にあたっては、上記表のカテゴリ①～③の複数の組織の関係者からなる「チーム」（2～3人程度を想定）で御応募いただきます。必ず一人は、③のカテゴリの方を入れてください。
- 地域における上質なツーリズム、特にエコツーリズムの推進の観点からは、③のカテゴリから自治体担当者の参加が推奨されます。自治体担当者が参加できない場合でも、観光協会、観光地域作り法人（DMO/DMC）、商工会、協議会、国立公園管理の関係者、各種組合等の方がチームにいれば応募は可能です。
- 現在、①～③の業務に従事していなくても、今後、働くことが確実に予定されている方の応募は可能です。
- 本研修に参加後、具体的な行動計画を定め、地域の関係者と協働しつつ自走する仕組みの構築を目指す意欲のある地域を対象とします。なお、研修終了後には、取組状況や成果などについて御報告頂き、本事業の評価に御協力いただきます。
- 応募総数が募集数（12地域程度）を上回った場合、選考を行う場合があります。
- 今年度の研修は、令和4年度までのコース別開催とは実施方法が異なります。

(2) 事業全体の流れについて

【令和5年度】 (③～⑧は全地域参加が必要)

時期の目安	事業の流れ	概要
10月	① 参加チームの募集	12地域程度を募集します。
11月初旬	② 書類審査・選定	応募書類に記載の内容を踏まえ、本事業での支援が効果的か、継続性、具体性、連携性、発展性、将来性などの観点により審査・選定を行います。
11月初中旬	③ 事前ヒアリング	選定された地域に対し、講師を交えオンラインで現状や課題等に関するヒアリングを行います(1~2時間程度)
11月初旬 ~11月19日	④ 事前自己研修	事務局から事前送付する教材(動画やテキスト等)をもとに、自己研修を行っていただきます。「事前自己研修」と「集合研修」は「一体的なカリキュラム」として構成されています。集合研修の参加までに履修してください。
11月20日 ~22日	⑤ 集合研修 (栃木県那須高原)	集合研修では、講義やワークショップを通して、目標となるロードマップや行動計画づくりを行います。
12月12日	⑥ 行動計画の発表 (オンライン開催)	各チーム(地域)において作成した行動計画を発表していただきます。行動計画は、集合研修後から実践に入ります。
12月中旬 ~2月中旬	⑦ 実践 ⑧ 事後アドバイザー 派遣の実施	アドバイザーを、各地域に1名派遣(最大2泊3日程度)し、行動計画への指導、助言の他、現場視察等を行います。 参加チームの皆様には、地域の関係者の参集や、現地の御案内等の調整をお願いします。その後の取組状況等も踏まえ、年度内に成果や課題、感想、そして今後の取組等をレポートにまとめ、提出していただきます。

【令和6年度】 (⑨～⑪は希望する地域のみ。)

⑨～⑪は、これまで研修に参加した全ての地域の中から、希望する地域を改めて募集します。

令和6年度中 (時期未定)	⑨ インバウンド対応研修(オンライン開催)	外国人観光客(インバウンド旅行客)の受け入れや、対応に向けた準備事項について学ぶ研修です。
令和6年度中 (時期未定)	⑩ フォローアップ アドバイザー派遣(対面)	行動計画の進捗が見込まれる地域や、行動計画の変更・修正にあたって指導/助言を行うことで、進展が期待できる地域に対し、アドバイザーを1回程度派遣します。 各地域の進捗を伺い、アドバイザーの派遣が効果的と考えられる地域を選びます。
令和6年度中 (時期未定)	⑪ 同窓会(オンライン)	平成29年度以降の本件研修参加地域との交流会をオンラインで実施します。

※令和6年度の事業内容については、令和6年度予算の成立等に応じて、内容が変更又は中止される場合があります。

4. 研修参加にかかる経費等

(1) 研修参加費用

3. ③～⑧に記載の研修受講費用は無料です。

ただし、⑤集合研修（11月20日（月）～22日（水）、栃木県那須高原にて実施）参加に当たり、下記記載の集合場所までの往復交通費及び、その他の実費（宿泊・食費等、1名あたり35,000円程度※）については、研修参加者で御負担いただきます。

※ 宿泊費 15,000円/泊（税込み）

【集合研修日時・会場】

日 時：令和5年11月20日（月）～22日（水）

会 場：ホテルサンバレー那須（栃木県那須郡那須町湯本 203）

<https://www.nasu3800.co.jp/>

日光国立公園 那須高原ビジターセンター（栃木県那須郡那須町湯本 207-2）

<https://nasu-vc.jp/>

那須平成の森フィールドセンター（栃木県那須郡那須町高久丙 3254）

<https://nasuheisei-f.jp/>

集 合：

現地（ホテルサンバレー那須）集合・解散の場合

11月20日（月）12：30 集合、11月22日（水）16：00 解散（予定）

東北新幹線・那須塩原駅前集合・解散の場合（送迎バス利用）

11月20日（月）11：30 集合、11月22日（水）16：40 解散（予定）

※詳細は、集合研修参加チーム（地域）に後日お知らせします。

(2) 事後アドバイザー派遣について

派遣するアドバイザーの旅費（現地までの交通費、現地での宿泊費。2泊3日分）及び謝金については、環境省（運営事務局）が負担します。その他の費用（現地での移動費用、施設利用料、入場料、その他アドバイスの実施にあたって現地で発生した費用等）については、参加地域側にて御負担ください。

【調整・対応等のお願い】

基本的に、主催者及び事務局は同行しません。派遣地域においては、応募チーム（地域）を中心に、取組地域側にて、アドバイザーの現地での移動、説明等の同行の対応をお願いします。

5. 研修講師及びカリキュラム一覧

(1) 研修講師（派遣アドバイザーを兼任する）（予定）（50音順）

アドバイザー	所属	活動・主な専門分野	具体的な得意分野
江崎 貴久	(有) オズ 代表取締役 役/海島遊民くらぶ	ガイド事業運営/地域協議体等組織	エコツーリズムによる地域連携 地域内連携 農・漁業と観光の連携手法
海津 ゆりえ	文教大学 国際学部 国際観光学科 教授	エコツーリズム論/地域観光資源活用/ エコツーリズム推進協議会設立等	エコツーリズムの理念・理論/ エコツーリズム推進協議会等の設立
木村 雄志	Activity Research 代表	WEB 解析士/アウトドアビジネスアドバイザー	アウトドアツアー、WEB マーケティング等。
鳥屋尾 健	(公財) キープ協会 環境教育事業部 事業部長	インタープリテーション関連	特に施設運営、展示、人材育成、団体客対応など。
西村 仁志	広島修道大学 教授	インタープリテーション関連	特に地域連携、人材育成、社会企業(ソーシャル・ビジネス)など。
府川 尚弘	前静岡ツーリズムビューローディレクター/ INDIGO 合同会社ディレクター	インバウンド推進/ 地域連携/観光マーケティング	県・広域連携レベルの DMO 単位での海外プロモーション/ DMO と地域事業者の連携手法
古瀬 浩史	帝京科学大学 教授/ (一社) 日本インタープリテーション協会 代表理事	インタープリテーション関連	特に自然公園や施設のインタープリター全体計画、個々のインタープリテーションや手法、展示、施設運営、人材育成など。
古屋 絢子	全国通訳案内士 (英語) / 文教大学 講師	インバウンド対応の全般	外国人目線を活かしたコンテンツの活用やプログラム作り、配慮すべき事項についてなど。
松田 光輝	(株) 知床ネイチャーオフィス 代表取締役	ガイディング/ガイド事業運営/地域協議体等組織	環境保全と利活用にかかる協議体の組織化と運営/ガイド事業における経営・運営・商品開発・ガイド技術等全般のアドバイス
松本 毅	(有) 屋久島野外活動総合センター 代表取締役	ガイド事業経営	エコツーリズムガイドの技術と担い手育成、ガイド事業運営
山崎 宏	(特非) ホールアース 自然学校 代表理事	インタープリテーション関連	特に施設運営、地域連携、人材育成、団体客対応など。
川嶋 直 ※事務局兼務	(公社) 日本環境教育フォーラム 主席研究員	インタープリテーション関連	特にインタープリテーションの手法、人材育成、研修設計など。

(2) カリキュラム (予定)

【事前学習】

11月中旬頃、動画を視聴いただきます。各講座 10分～30分、全体で3時間程度。

講座名称	担当
研修のねらいと全体像	環境省
自然を守るしくみと地域づくり	環境省
本研修で取り扱う人材育成指標について	事務局
エコツーリズム概論	海津 ゆりえ
地域の宝探しとテーマ、ストーリー作り	海津 ゆりえ
インタープリテーションって何だろう？～その魅力と活用方法～	古瀬 浩史／川嶋 直
自然体験活動におけるリスクマネジメントの基礎	佐藤 初雄
過年度研修受講者からの声	－

【集合研修】

11月20日～22日、栃木県那須高原にて実施します。

1日目 11月20日 (午後)	担当
開会式、オリエンテーション、講師等紹介、アイスブレイク、集合研修の全体像	環境省、事務局
環境省の最近の取組について	環境省
エコツーリズムによる観光地域づくり	江崎 貴久
感動と学びにつながるインタープリテーションの基礎	鳥屋尾 健
インタープリテーション全体計画が地域にもたらすこと～雲仙温泉における事例から～	加藤 雅寛 (環境省)
マーケティング視点からの観光地域づくり	府川 尚弘
地域におけるガイドの役割	松本 毅／山崎 宏

2日目 11月21日	担当
那須平成の森フィールドセンター訪問 (インタープリテーションの実際を体験)	那須平成の森
那須高原ビジターセンター訪問 (昼食後、ホテルサンバレーへ戻る)	那須高原ビジターセンター
< 選択講座 > ・ 地域におけるガイド・インタープリター育成 ・ インタープリテーション全体計画 (地域のテーマ (ストーリー) づくり) ・ 広報・情報発信 ・ 地域内の協力体制とコーディネーターの役割	松本 毅／西村 仁志／ 古屋 絢子 古瀬 浩史／鳥屋尾 健 木村 雄志／府川 尚弘 松田 光輝／山崎 宏
マーケットインの視点から見た商品開発の考え方と販促概論	木村 雄志
事業経営の実際	松田 光輝／山崎 宏／ 鳥屋尾 健
リスクマネジメント	松田 光輝

3日目 11月22日	担 当
これからの自然保護と利用のあり方	松田 光輝
インバウンドの最新動向と受入れの基礎（観光客の受入れ）	古屋 絢子
行動計画の作成とプランニング	西村 仁志
行動計画づくり（1）	各講師
（昼食、ホテルサンバレーにて）	
行動計画づくり（2）	各講師
ふりかえり、評価アンケート記入、事務連絡、閉会式	環境省／事務局

【事前又は事後学習】

11月中旬以降、12月末までの期間で、動画を視聴いただきます。

各講座 10分～60分、全体で5時間程度。

講 座 名 称	担 当
アメリカ国立公園のインタープリテーション	古瀬 浩史／古屋 絢子
テーマに基づいたインタープリテーション	古瀬 浩史
インタープリテーションの様々な道具や手法の紹介	古瀬浩史／鳥屋尾健／川嶋直／古屋絢子／西村仁志
インタープリテーションのプログラム・デザインの手法	川嶋 直／古瀬 浩史
自然解説の組み立て	松本 毅
マーケティング・販売戦略について （オンラインでの販売促進の基礎）	木村 雄志
日本の自然環境の価値と意味	田中 伸彦
自然保護・モニタリング	横山 隆一
安全管理	木村 雄志

※カリキュラム、講師・講義のタイトルは変更となる場合があります。

6. 応募方法について

(1) 応募書類について

- 環境省ホームページ、または応募先の事務局のホームページから応募フォームをダウンロードの上、下記事務局担当2名宛に電子メールにて提出してください。
- 応募フォームは、チームの構成員で話し合いの上、記載願います。
- 提出された応募書類は本事業に関する目的以外には使用しません。お預かりした個人情報は、「環境省所管事業分野における個人情報の保護に関するガイドライン」に従い管理します。なお、応募書類は返却しません。
- 応募書類は日本語で記入してください。なお、応募フォームの様式は変更せずに記入してください（記載内容に応じて、枠を広げることは可とします。）。

(2) 応募締切

令和5年10月31日(火)必着

(3) 応募にあたっての留意点

- 応募に当たっては、事前に所管の自治体と御相談いただいた上で御応募ください。
- 本事業は環境省主催です。応募する地域が国立公園内に該当する場合は、所管する環境省の出先機関（地方環境事務所、自然環境事務所、国立公園管理事務所、自然保護官事務所等）にも、事前に御一報いただくことをお勧めします。

【事務局】（問合せ・応募先）

公益社団法人日本環境教育フォーラム（担当：小堀）E-mail：kobori@jeef.

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-38-5 日能研ビル1階

電話：03-5834- ホームページ：<http://www.jeef.or.jp>

一般社団法人日本エコツーリズム協会（担当：坪根）E-mail：tsubone@ecotourism

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-9 アイケイビル3F

電話：03-5437- ホームページ：<https://ecotourism.gr.jp>

【主催】

環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室

（担当：伊東） 電話：03-5521-

Q&A

Q：主な活動フィールドが国立公園ではないのですが応募は可能でしょうか？国立公園満喫プロジェクトの対象国立公園ではないのですが応募は可能でしょうか？

A：いずれも可能です。自然資源（里地・里山などの自然を含む）を活用した地域振興、観光振興を目指す地域であれば、どこでも対象となります。

Q：募集対象となる「地域」とは、どのような範囲でしょうか？

A：「県境を越えた自然公園全体」～「ひとつの集落」まで、およそ「地域」と呼べる単位とします。

Q：フリーで自然のガイドをしています、個人での応募は可能でしょうか？

A：事業全体では、アドバイザー派遣の地域側での受入や、地域の課題解決のためのロードマップや行動計画の作成等を行いますので、応募は必ず、地域の行政担当者に相談のうえ、サポート側の関係者を含め2～3名程度での応募をお願いします。

Q：自分たちの活動（事業）をサポートしてくれる行政の部署、担当者などはどのように見つければよいでしょうか？

A：応募しようとする方の活動する自治体の地域振興・観光・産業・環境部署、最寄りの環境省自然保護官事務所などの担当者などに協力を打診してください。観光協会や商工会の方がサポート側のメンバーとして参加されても良いです。

Q：観光課の職員です。一緒に参加したいガイド等が10名ほどいるのですが参加可能でしょうか？

A：なるべく多くの地域からの参加を受け入れたいので、原則としてスタッフ・事業者側の方＋サポート側の方＝合計2～3名のチームでの応募をお願いします。若干名であれば、全体で受入人数が決まった後に余裕がある場合にのみ受入調整を行うことを前提に、別途御相談ください。

Q：集合研修後のアドバイザー派遣は、必ず来ていただけるということではないのでしょうか？

A：募集上限（12地域程度）を超えて参加受け入れした場合のみ、選考があります。

Q：サポート側のメンバーは、市町村ではなく都道府県の方でもよいですか？

A：サポート側のメンバーとしては、都道府県でも構いません。なお、その場合は、都道府県や市町村との関係性などがわかる体制図やビジョン等を参考にお示しください。